

第2回「企業の事業継続計画(BCP)策定・改善講習会」を開催しました(2017/11/9)

テーマ：熊本地震、企業、事業継続計画(BCP)

場所：肥後銀行熊本駅前支店2階セミナールーム(熊本県熊本市西区)

URL：<http://maruya-laboratory.jp/blog/bcm-bcp-advice>

2017年11月9日(木)10時から17時まで、東北大学災害科学国際研究所丸谷研究室と熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター藤見研究室の共同主催、公益財団法人地方経済総合研究所の協力により、「第2回企業の事業継続計画(BCP)策定・改善講習会」を、熊本市の肥後銀行熊本駅前支店2階セミナールームで開催しました。

本講習会は、当研究所の他大学等との共同研究助成制度を活用した研究の一環として実施したもので、本年9月7日に開催した第1回講習会に引き続くものとなります。当研究所の丸谷浩明教授(人間・社会対応研究部門)、熊本大学の藤見俊夫准教授、当研究所の寅屋敷哲也助教(人間・社会対応研究部門)の3名が講師を務め、講演及び演習(グループ形式)を行い、熊本の企業・組織14団体から19名の方にご参加いただきました。また、熊本大学大学院生命科学研究科からも2名のオブザーバーが参加しました。

当日のカリキュラムは、まず、午前中、第1回講習会の宿題とした各企業・組織のBCPの簡易版の一部を参加企業から発表いただきました。寅屋敷助教が司会を務め、発表のポイントを①重要業務と目標復旧時間の考え方、②安否確認の方法、③代替拠点の考え方、④作成に当たって難しかった点や工夫した点とし、丸谷教授と藤見准教授がコメンテーターとして発表に対して質問や助言を行いました。午後からは、丸谷教授が「BCPの拡充・改善の方法」と題して講演を行い、その後、丸谷教授の進行のもと、「BCP簡易訓練(演習)」を実施しました。演習では、BCP策定に重要なポイントを確認するため、①被害確認、②重要な連絡先、③代替拠点に移るかの判断の3点について、おおまかな業種別に4班に分かれ、参加各社ごとの検討を踏まえたグループ討議を行いました。

本講習会は、今年9月の第1回、今回の第2回に続き、来年3月上旬には第3回目として希望される参加企業・組織とのBCPの個別相談会の実施を予定しています。熊本地震での影響を受けた企業・組織が災害対応力を高めるために、この講習会及び研究成果が少しでも役立つよう、引き続き活動を進めていく所存です。



参加企業のBCPの一部の発表の様子 講演(丸谷教授) 演習(グループ形式)の様子

文責：丸谷 浩明、寅屋敷 哲也(人間・社会対応研究部門)